

大田区

青少年対策地区委員会だより

令和7年度（第82号）

大田区 地域力推進課

はじめに

大田区青少年対策地区委員会は、特別出張所を単位とし、全 18 地区に設けられており、地域の青少年健全育成を目的として様々な活動を行っています。

主な役割は、①育成活動、②環境浄化活動（青少年に悪影響を与える DVD ソフトなどの販売自粛を関係業者に要請するなどの活動）、③関係団体との連絡調整・情報交換などです。

この「青少年対策地区委員会だより」は、活動のふり返りに使用していただくとともに、多くの方に地域で行われている青少年健全育成活動を知っていただくために作成しています。

『地域力』とは・・・

大田区における「地域力」の基本的な考え方

- 1 地域は、そこに住み、働き、学ぶなど、その地域に関わる区民一人ひとりによって構成され、支えられています。また、地域社会においては、人やまちへの思いやりの心と規範意識を持ち、社会的なルールを尊重することが重要です。
- 2 暮らしやすいまちの実現には、区民一人ひとりの力が必要であり、この力が地域力の源です。そして、一人ひとりの力を結びつけることなどで地域力はさらに強くなります。
- 3 自治会・町会、事業者、団体・NPO、区など、地域を構成する様々な主体が連携・協働することによって、地域力はさらに高まります。
- 4 歴史や文化、自然環境、まちなみ、産業など、地域の特徴を活かすことで、魅力ある地域力を創造することができます。
- 5 防犯・防災、福祉、子育て、教育、環境、産業、国際交流、まちの魅力づくりなど、多様化する地域課題を解決するためには、地域力が大切です。

令和7年度 青少年対策地区委員会会長会会長 あいさつ

令和7年6月より青少年対策地区委員会会長会の会長となりました、羽田地区委員会会長の金田と申します。

今年度はスポーツの年で、昨年の夏季デフリンピック東京大会、今年はミラノ・コルティナ冬季オリンピック・パラリンピック、ワールド・ベースボール・クラシックが行われ、次年度の6月からの FIFA ワールドカップへと続きます。選手たちの活躍が子どもたちに勇気と希望を与えてくれることと思います。

青少年に関わる大きなニュースとして、青少年問題協議会が、青少年対策地区委員会の発足母体である同協議会の役割を、令和8年度を目途に見直すこととなりました。約70年にわたり非行防止の重要な一翼を担ってきた同協議会ですが、非行少年が大幅に減少し、若者の保護観察者数も減少の一途をたどっております。これまでの協議会の活動が一定の成果を収め、役割を終えつつある状況は非常に感慨深いものがあります。

一方、若者の自死者数が過去最多となるなど、青少年を取り巻く環境には依然として多くの課題が残されています。青少年の生きる力が弱くなっていると受け止めています。子どもたちが巻き込まれる犯罪は複雑化が進み、ネット社会による顔の見えないコミュニケーションは犯罪の温床にもなっています。

我々青少年対策地区委員の役割は、黎明期の非行少年の対応から、この複雑な社会の中で、全ての子どもたちが健やかに育まれるための活動に変化してきています。

私たち委員もネット犯罪等の新しい知識を身に付け、行政、学校、警察、地域と今後ともスピード感を持って連携して活動できますよう、一層のご協力をよろしくお願いいたします。



大田区青少年対策地区委員会会長会 会長 金田 行英

もくじ

1 青少年支援活動報告

(1) 青少年対策地区委員会年間活動	1
(2) リーダー講習会	38
①小学生対象	
②中学・高校生対象	
③成人対象	
(3) 青少年表彰式	43

2 その他の事業報告

(1) 青少年問題協議会	50
(2) 青少年対策地区委員研修	52
(3) 青少年を取り巻く環境の整備	54

1 青少年支援活動報告

(1) 青少年対策地区委員会年間活動

青少年対策大森東地区委員会

■会長挨拶

昨年の活動を振り返ると、春のバスハイクで多くの申し込みがあり、予算と人のやりくりの末、初めてバス3台で無事行けたことでしょうか。

また、青少対の中でもPTAをはじめとして、若い人たちの積極的な発言・活動が増えてきたのはうれしいことです。

また昨今、リーダー講習会で受講生やリーダーを務めてくれた人が、社会人として活躍し、なかには青少対委員となって活動を支える側に回っている人を目にすると、何ものにも代え難い「活動の成果」のようで、嬉しく、誇らしく感じます。

これからも皆様と共に、新しい青少対活動を目指していきたいと思います。



青少年対策大森東地区委員会
会長 比戸 二郎

■目標

大森東地区青少対活動の基本目標

- 人の痛みがわかる思いやりのある子を育てる
- 自分の考えをしっかりと持ち、善悪の判断ができる子を育てる
- 健康で夢や希望に向かって進める子を育てる
- 明るく元気で素直な自分の行動に責任の持てる子を育てる
- 団体活動に積極的に参加できる子を育てる

以上を目標に青少年健全育成活動を進めて参ります

■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
4月27日(日)	ガーデンパーティー平和島会場 ブース出店	604人
5月10日(土)	リーダー講習会激励会	19人
6月27日(金)	感謝状贈呈式・新旧委員懇親会	28人
7月1日(火)	広報紙「青少対大森東だより」発行	4,500部
7月12日(土)	夏のバスハイク	53人
8月24日(日)	リーダー講習会 大森東地区担当回	95人
10月19日(日)	いつつのわふれあい祭り ブース出店	666人
11月1日(土)・2日(日)	OTAふれあいフェスタ ブース出店	1,902人
11月23日(日)	デイキャンプ	32人
12月7日(日)	リーダー講習会反省会・お楽しみ会	19人
3月14日(土)	春バスハイク	123人
奇数月	役員定例会	

■振り返り

【デイキャンプ】

今年度初の試みで保護者参加型の「デイキャンプ」を青少年交流センターゆいっつ・平和島公園キャンプ場にて実施いたしました。

当日は実際に子どもたちに材料を切ってもらったり、お米を炊いてもらったりしてもらい、豚汁とおにぎりを作りました。

昼食後はフライングディスクゴルフやグラウンドゴルフなど簡単なアクティビティも実施しました。

参加者からは、「料理するのは大変だったけど楽しかった」などといった感想をいただきました。



【春のバスハイク】

今年度は、参加児童が88名となり、バス3台で「春のバスハイク」を実施いたしました。

行先は、神奈川県横須賀市にある「津久井浜観光いちご園」、「三大記念艦三笠」、横浜市金沢区の「横浜市立金沢動物園」です。

「津久井浜観光いちご園」では、たくさんのいちごを笑顔いっぱい頬張る姿が見受けられました。

「三大記念艦三笠」では、展示の見学やシミュレーションゲームを体験し、歴史ある「三笠」について学ぶことができました。

「横浜市立金沢動物園」では、コアラやゾウなど、たくさんの動物に触れ合うことができました。

参加者にとってアンケートでは、参加者のほとんどが「楽しかった」と回答してくれました。また、その他にも「他の学校の子と仲良くなれてよかった」と回答してくれた参加者もあり、小学校の垣根を越えた交流をすることができました。



青少年対策大森西地区委員会

■会長挨拶

令和7年度は、大森西二丁目複合施設整備計画のI期工事が竣工し「大森西地域力推進センター」が開設されました。施設には芝生の中庭があり、小学生の交流会として遊びのコーナーを設け、子どもたちの笑顔に出会うことができました。課題もありますが、これからもこの施設を活用した取り組みを展開していきたいと考えています。



また、小学校の七輪体験の授業に協力をさせていただきました。

七輪に炭火を起こし、網を置き、和やかに楽しく餅を焼きました。青少年対策大森西地区委員会最後に聞いた感想は「お餅が美味しかった。おかわりが欲しい。」会長 田中 清一
の声がばかりでしたが、良い体験になったことと思います。

今後も、子どもたちの笑顔、健やかな成長を念頭に、学校をはじめ地域の求めに応じた取り組みも行いたいと考えているところです。

■目標

「たくさんの 笑顔あふれる 大森西」

■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
5月18日	子ども体験ツアー（科学技術館、そなエリア東京）	14人
6月1日	大森地域リーダー講習会 大森西担当回	約40人
7月、8月	管内小学校 サマースクール（ペットボトルキャップビーズ）	総勢40人
8月23日	大森地域リーダー講習会 大森西担当回	約40人
10月26日	秋のバスハイク（みかん狩り）	25人
11月1日～ 11月2日	OTAふれあいフェスタ 手作りコーナー（アルミ缶プレート、紙コプター）	約500人
11月12日	委員研修会	約30人
11月24日	小学生の交流会（モルック体験、輪投げ、イライラ棒）	約15人
12月7日	大森地域リーダー講習会 大森西担当回	約40人
12月7日	リーダー講習会終了後 参加者との懇談会	23人
12月21日	ジュニアリーダークラブ クリスマス会	23人

2月8日	委員日帰り研修（施設見学：横須賀軍港めぐり遊覧船、観音崎自然博物館）	22人
	定例会 毎月（8月、1月除く）	
	ジュニアリーダークラブ 定例会	
4月、10月	広報紙発行	

■ 振り返り

■ 子ども体験ツアー 令和7年5月18日

千代田区の「科学技術館」、江東区の「防災体験学習施設（そなエリア東京）」へ行きました。科学技術館の館内には「くすりの部屋」や「クルマの仕組み」などさまざまな展示がされており、日常では体験することができない経験をすることができました。また、「そなエリア東京」ではタブレットで出題されるクイズに答えながら、災害への対応について学ぶことができました。



■ 秋のバスハイク 令和7年10月26日



秋のバスハイクでは、神奈川県三浦市の「石井みかん園」へ行き、みかん狩りを行いました。新鮮なみかんをたくさんとることができ、子ども達は大喜びでした。また、神奈川県横浜市にある「はまぎんこども宇宙科学館」へ行き、宇宙や科学の不思議に触れることができました。

■ 小学生の交流会 令和7年11月24日

本年度の小学生の交流会では、大森西地域力推進センターの芝生ひろばで行いました。モルック体験、輪投げ、イライラ棒などのさまざまな遊びを管内の小学生の皆さんに楽しんでいただきました。お土産にポップコーンを配布し、ジュニアリーダーのお兄さん・お姉さん、初めて会ったお友達と楽しい時間を過ごすことができました。



■ ジュニアリーダークラブ クリスマス会

ジュニアリーダー、そして本年度リーダー講習会を受講した管内の小学生向けにクリスマス会を行いました。レクリエーションは人間知恵の輪を行い、お互い協力し合って輪を解くことができました。サンタやトナカイも登場し、楽しいクリスマス会となりました。

青少年対策入新井地区委員会

■会長挨拶

令和7年度から入新井青少対の会長を務めさせて頂くことになりました、佐々木久江と申します。よろしくお願いいたします。

今年度、当地区委員会はガーデンパーティー（3地区合同開催）を幹事地区として開催しました。7月には「東松島市・大田区 小学生交流事業」を実施し、昨年オープンしたスマイル大森で、東松島市と入新井の小学生がボッチャの競技を通して交流を深めました。

これからも、地域と協力しながら、子どもたちの笑顔があふれる活動を続けて参りたいと思います。引き続き地域の皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。



青少年対策入新井地区委員会
会長 佐々木 久江

■目標

地域と連携して、**笑顔で活躍できる体験の場**を、子どもたちに提供していく

■年間活動報告

月 日	活動名	参加人数
4月27日	第74回大田区子どもガーデンパーティー	5,266名
5月6日	農業生産体験活動（田植え）	41名
5月18日	リーダー講習会 受講生及び保護者説明会	20名
5月22日	第1回理事会・総会	理事会：26名 総会：37名
6月10日	第1回PTAとの懇談会	30名
6月1日～12月7日	大森地区リーダー講習会	175名
7月9日	第75回“社会を明るくする運動”入新井地区集会	124名
7月19日・20日	入新井盆踊り大会 （ポップコーン作りで協力）	837名
7月29日	令和7年度東松島市・大田区小学生交流事業	21名
9月7日	農業生産体験活動（稲刈り）	42名
9月14日・15日	第48回大森四地区少年野球大会	計10チーム 参加
10月1日	入新井地区デイキャンプ実行委員会	29名
10月13日	入新井地区デイキャンプ	53名
10月23日	OTAふれあいフェスタ打合せ会	55名
11月1日・2日	OTAふれあいフェスタ2025 入新井青少対コーナー	5,347名
12月7日	入新井地区リーダーとの交流会	21名
12月12日	第2回理事会	20名

1月22日	広報誌編集会議	11名
2月8日	morimori 🍄 スマイルフェスタ 入新井青少対コーナー	
2月12日	第2回PTAとの懇談会	23名
3月13日	第3回理事会	24名
3月13日	広報誌「入新井青少対だより」第38号発行	4,000部発行
3月22日	バスハイク	111名

■振り返り

◎農業生産体験活動 田植え 令和7年5月6日(火・祝)／稲刈り 令和7年9月7日(日)

千葉県南房総市大井の「いきいき 体験共和国」にて、田植え体験と稲刈り体験を実施しました。小学校3校の児童、PTA、大森警察署、青少対委員で参加しました。

あいにくの荒天のため、田植えは、内容を変更しての実施となりましたが、稲刈りは晴天のもと無事に終わることが出来ました。実際に農作業を体験して普段食べているお米ができる過程を学ぶことで、「食」のありがたみを感じることができました。



◎入新井地区デイキャンプ 令和7年10月13日(月・祝)



平和島公園キャンプ場にて、デイキャンプを実施しました。小学校4校の児童のほか、国際都市おおた大使(中国、ブラジル、グアテマラ)にも参加頂き、国際色豊かなイベントとなりました。午前中は大使と一緒にカレーを作って交流を図り、午後からはペットボトルロケットを飛ばして飛距離を競ったほか、大使のレクチャーのもと、各国の遊びを体験しました。こどもたちは様々な国籍の方と交流することで、外国人や異文化をより身近に感じる事ができたようでした。

◎バスハイク 令和7年3月23日(日) ※令和6年度事業

埼玉県さいたま市の「鉄道博物館」と、栃木県栃木市の「いわふねフルーツパーク」を訪れました。児童は小学校4校から73名が参加し、PTA、ジュニアリーダー、地区自治会連合会長、青少対委員を合わせた総勢97名で実施しました。

「鉄道博物館」では、迫力ある車両展示のほか、鉄道の歴史や科学技術についての展示を見学、体験しました。「いわふねフルーツパーク」では、完熟した「とちあいか」を堪能しました。



青少年対策馬込地区委員会

■ 会長挨拶

青少年対策馬込地区委員会は、自治会・町会・学校・PTA・地域の皆様と連携し、地域に根付いた子どもたちを育成することを目標に活動しております。

今年度は、親子で楽しめるイベントをと「親子でスポーツスタンプラリー」を試みました。三種目のスポーツを順番で親子体験する催しで、参加した子どもたちや保護者の方々は笑顔があふれていました。当日は雪の天候になり今後開催時期等の課題も残りました。

今後、馬込地区の新たな活動として、馬込アートギャラリーの開所や宇野千代の朝のドラマ化等を契機に、地域を知るイベントの開催等を検討して行きたいと思っております。

日頃からご協力を頂いております自治会・町会・学校・PTA・地域の皆様に深く感謝申し上げます。これからも地域に密着して、子どもたちの笑顔あふれる活動を展開してまいります。

ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



青少年対策馬込地区委員会
会長 鈴木 正

■ 目標

- ・ 地域の子どもたちの安心安全
- ・ 地域に根差した青少年の育成

■ 年間活動報告

実施月日	活動名	参加人数
4月17日	自治会・町会長との合同研修会	49名
5月30日	総会	45名
7月15日	広報誌「きずな」第51号発行	
7月7日	新旧委員交歓会	40名
8月17日	第45回少年野球大会	360名
7月27日	大森地域リーダー講習会（馬込担当回）	約32名
8月24日	第51回ソフトボール大会	110名
10月26日	第31回小学生ドッジボール大会	324名
2月8日	親子でスポーツスタンプラリー	51名
1月13日	新年懇親会	36名
2月15日	馬込地区5道場剣道大会	150名
1月25日	ジュニアリーダークラブ いちご狩り	13名
3月4日	中学生育成行事「中学生カイギ」	7名
通年	馬込ジュニアリーダークラブ	
通年	馬込青少対剣道部	
通年	小学校別行事（PTA主催）	

■ ふりかえり

馬込青少対では、小学生を対象とした行事を開催する「少年部」、中学生以上を対象とした行事を開催する「青年部」、中学生以上のリーダーを育成する活動をする「ジュニアリーダー部」に分かれて様々な活動を行っております。今年開催した代表的な行事を紹介いたします。

◎ 少年部：第31回小学生ドッジボール大会 10月26日（日）

馬込地区の4つの小学校（4～6年生）を対象に、188名の児童が参加してのドッジボール大会を馬込中学校で開催しました。

ドッジボールはこどもたちにとっては大変親しみあるスポーツでもあり、大会に向けて先生や保護者の協力のもと個々の練習のほか、ルールやチームワークを学ぶ良い機会となっています。そのため、個々の力だけでなくチームワークも完成された良いチームが多くみられました。また、ひとつの試合が終わるごとに、歓喜の声や悔しさに涙する姿が見られ、こどもたちの大会への想いが伝わってきました。今年も前年に引き続き、大会のオンライン配信を行いました。会場に来られない保護者の方もこども達の雄姿を見ることができたとご好評いただきました。

大会運営ではPTAの皆様をはじめ、桜台高校や立正高校の生徒さんにもボランティアとして支えていただき、無事に開催することができました。



◎ ジュニアリーダー部：お楽しみ会 12月21日（日）



リーダー講習会終了を祝して、ジュニアリーダークラブ生徒主催のもと、受講生を招待のうえ「お楽しみ会」を開きました。みんなでレクリエーションをしたり、青少対委員の手作りのお昼ご飯を一緒に食べたり、最後はビンゴ大会をするなど、非常に盛り上がりました。参加したこども達の中から、来年は馬込のジュニアリーダーとして活動していくことを決めた子もおり、楽しみながらも未来のリーダー育成につながる活動を行うことができました。

◎ 特別行事：親子でスポーツスタンプラリー 2月8日（日）



今年度の特別行事では馬込地区の小学生とその保護者を対象に「親子でスポーツスタンプラリー」を実施しました。

当日は、ご参加いただいた親子に3つのチームに分かれていただき、近年注目を浴びている新しいスポーツである「ポッチャ・ピックルボール・モルック」の3種目を順番にご体験いただきました。皆さん初めて体験するスポーツばかりでしたが、どの種目も親しみやすく、またスポーツ推進委員に優しくルールを教えてもらいながら体験をすすめることで、ご家族で楽しんでいただきました。

当日は降雪にも関わらず、31名の親子にご参加いただき、参加者の方からは、「親子でスポーツをやる機会ができて、とても楽しかった」などご好評の声をいただきました。

青少年対策池上地区委員会

■会長挨拶

日頃より、青少年対策池上地区委員会にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

今年度は、大田区子どもガーデンパーティー、区民スポーツまつりの一環で行われたポッチャ交流会、地域ふれあいコンサートなど、池上会館を会場として盛大に開催できましたことに感謝申し上げます。

来年度は池上会館が改修工事のため使用できません。会場の変更、内容の見直しなどを行い、委員一同協力しながら、多くの方の笑顔があふれる活動としてまいります。



青少年対策
池上地区委員会
会長 秋庭 寿栄

■目標

「地域で育む、地域の宝」

■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
5月20日	理事会	14人
5月8日	ジュニア・リーダー・クラブ総会	11人
6月6日	理事会・総会	26人
7月14日	池上プラネタリウム教室	121人
8月24日	参加行事／池上まつり	13人
8月30日	後援事業／徳持小学校 PTA 行事	1717人
9月7日	ジュニア・リーダー・クラブ研修会	13人
9月28日	後援事業／池上小学校 PTA 行事	666人
10月9日	池上プラネタリウム教室	202人
10月19日	池上スポーツまつり	150人
11月3日	地域ふれあいコンサート	537人
11月22日	参加行事／いけいけハートフルフェスタ	8人
12月19日	理事会	14人
12月21日	ジュニア・リーダー・クラブ交流会	20人
1月13日	新年懇談会	30人
1月	広報誌「青少対いけがみ」発行	7,000部
2月11日	ジュニア・リーダー・クラブ バスハイク	45人

■振り返り

◎池上プラネタリウム教室 令和7年7月14日、10月9日 場所 池上会館

池上地区内全小学校の4年生を対象にプラネタリウム教室を開催しました。実際の星空を再現したドーム内で、星座の名称や位置、季節ごとの変化を視覚的に体験することで、授業で学んだ内容をより深められる良い機会になりました。児童は星のように目が輝いていました。



◎池上スポーツまつり 令和7年10月19日(日) 場所 池上会館



区民スポーツまつりの一環として、秋晴れの元、ポッチャ交流会とパン食い競走を開催しました。ご家族・ご友人・町会など全25チームが対戦し、計150名参加で大盛況でした。子どもからお年寄りまで、池上地域のつながりを深める楽しい機会となりました。

◎地域ふれあいコンサート 令和7年11月3日(月・祝) 場所 池上会館

地域の方が、音楽を通して子どもたちとの交流を図ることを目的として、地域ふれあいコンサートを実施しました。出演者257名、来場者約230名と、多くの方にご参加いただき大盛況でした。最後は全員で「アンパンマンのマーチ」を合唱し、会場が一体になることを実感できました。



◎池上ジュニアリーダークラブ



中学生から大学生までの27名が、行事の企画、運営などを行い、地域の子どもたちのリーダーとして活動しています。

《研修会》バスハイクなどで小学生を安全に引率できるよう、引率の研修を行いました。

《交流会》小学生を招いて料理やレク、プレゼント交換などを行いました。

《バスハイク》小学生の参加者を募集し、いちご狩りと水族園の見学に行きました。

青少年対策新井宿地区委員会

■会長挨拶

新井宿地区は8つの自治会・町会があり、とても家族的な雰囲気をもち、何かとまとまりやすいところです。

その中で新井宿青少対は、「青少年の健全育成」を目的に、地域力推進の一翼を担っております。年間を通して数々のふれあいや様々な体験の中で、こどもたちが心と体を健全で豊かにしてくれることを願っています。

とりわけ、こどもたちに大人気の事業「農業体験学習」、「地区スポーツの集い」には力を注いでいます。

こどもたちが楽しみながら健やかに成長する支援を、今後も精力的に行っていきたいと思っております。



青少年対策新井宿地区委員会

会長 和田 芳明

■目標

新井宿の地域にこどもたちの元気な声が飛び交う、それを取りまく大人たちの温かい眼差しがこどもを守る。

■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
4月15日	理事会〈新井宿特別出張所〉	20人
5月20日	総会〈新井宿特別出張所〉	55人
5月11日 8月31日	農業体験学習 田植え、稲刈り〈千葉県南房総市〉	74人
9月1日	広報誌発行	—
9月14日 9月15日	大森四地区少年野球大会 〈平和島公園野球場〉	203人
10月19日	地区スポーツの集い ドッジボール大会 〈大森第三中学校〉	91人
12月14日	新井宿こどもデイキャンプ 〈平和島公園キャンプ場、ゆいっつ〉	68人
令和8年 2月2日	地区集会〈新井宿特別出張所〉	48人
令和8年 2月15日	委員研修〈予科練平和記念館 他〉	21人
令和8年 2月23日	落語を聞く会〈大田文化の森〉	45人
奇数月	定例会〈新井宿特別出張所〉	55人

■振り返り

◎農業体験学習 田植え5月11日(日)・稲刈り8月31日(日)

〈千葉県南房総市〉

千葉県南房総市にて農業体験学習を実施しました。新井宿地区管内3つの小学校児童、青少対委員ら総勢74名が参加しました。

5月の田植えでは、田んぼいっぱい苗を植えました。「普段はできない貴重な体験ができた」と喜んでもらうことができました。

8月の稲刈りでは、慣れない鎌を使いながら、大きく実った稲の刈り取りを行いました。刈り取ったお米は持ち帰ることができ、こどもたちは大喜びの様子でした。



◎地区スポーツの集い 「ドッジボール大会」10月19日(日)

〈大森第三中学校 体育館〉

新井宿地区管内3つの小学校から児童91名が参加しました。

低学年は5チーム、高学年は3チームのリーグ戦を行い、白熱した試合を繰り広げました。試合後には高学年の優勝チーム、低学年の1位～3位までのチーム、MVP、努力賞の選手の表彰を行いました。

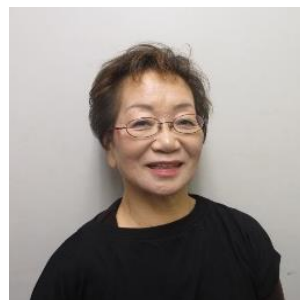


青少年対策嶺町地区委員会

■会長挨拶

嶺町地区では、今年度も地域の皆さまのご協力のもと、様々な活動を行うことができました。木工教室や夏まつり、デイキャンプ、クイズラリーなどを通して、子どもたちは仲間と協力することの大切さや、地域の温かさに触れる貴重な体験を重ねてきました。

今後も、子どもたちが安心して参加でき、心に残る体験ができる活動を大切にしながら、地域の皆さまと連携し、嶺町地区ならではの青少年育成活動を進めてまいりたいと考えております。引き続き、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



青少年対策嶺町地区委員会
会長 相原 彌津枝

■目標

地域に在住・在学する子どもを対象に、地域内の結束力の向上及び親子間の絆を深めることを目標とし、子どもたちが楽しめるような行事を行う。

■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
7月27日	みねまち親子木工教室	親子 48 組
8月31日	子ども夏まつり	936 人
10月5日	デイキャンプ	小学生 他 103 人
2月2日～15日	ぐるっと5町会！みねまちクイズラリー	435 人
2月28日	委員研修会 デフリンピック出場選手による講演	委員 他 32 人
3月31日	広報誌「嶺風」27号発行	4,600 部



デイキャンプにて
(こどもの国)
令和7年10月5日

■振り返り

【みねまち親子木工教室】

令和7年度からは東調布建築組合協力のもと、委員が主体となり木工教室の運営を行いました。こどもたちはお父さんやお母さんと一緒に、「スライド本立て」作りの説明を真剣に聞きながら一生懸命取り組んでいました。

難しい作業を委員や建築組合の方に聞きながら、親子で協力して作成する時間はかけがえのないものになったことと思います。苦戦しながらも、作品を完成させたこどもたちの姿は達成感に満ち溢れていました。

自宅で色を塗り、自分だけのオリジナル作品にして夏休みの自由研究の作品として提出したこどももいるそうです。



【子ども夏まつり】

すいか割り・ヨーヨー釣り・水鉄砲射的・ジュニアリーダーによるお化け屋敷などたくさんのコーナーを設け、900人以上の方々にご来場いただきました。

天候に恵まれたなかでの開催となり、来場したこどもたちからは「すいか割りがおもしろかった！」「来年はお友達とお化け屋敷に入りたい！」といった声があがりました。

参加したこどもたちにとって、夏休みの楽しい思い出の1つになっていたらうれしいです。



【デイキャンプ】

神奈川県にある「こどもの国」にバスで向かい、野外炊事場でカレー作りを行いました。ジュニアリーダーを中心に、班のメンバーと協力しながら火おこしや飯盒を使ってお米を炊くなど、様々な体験をしました。慣れない作業に戸惑いながらも、おいしいカレーを作ることができました。

カレーを食べた後は、ジュニアリーダーとレクリエーションをして楽しいひと時を過ごしました。

学校や学年の枠を越えた交流を経て、「初めて会った人たちと仲良くなれた！」といった喜びの声を聞くことができ、充実した1日となりました。



青少年対策田園調布地区委員会

■会長挨拶

青少対活動は地域の皆様に支えられています。

逆に委員のみなさんも自治会など、

地域の活動に参加している方がほとんどです。

地域の要望によってせせらぎ公園、せせらぎ館、体育施設が完成して、住民の憩いや運動に活用されています。

青少対でもガーデンパーティーはもちろん、

様々な行事で中心的な活動場所としていきます。

今年度は従来 of 行事を見直して、ブラッシュアップします。青少対策田園調布地区委員会
よろしく願いいたします。



会長 齊藤 一郎

■目標

「子どもたちのために今できることを！」

■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
6月	ジュニアリーダー救急救命講習	19名
7月	広報誌「田園調布だより No. 42」発行	
7月	田園調布小学校わくわくスクール 調布大塚小学校お楽しみ教室	約100名
8月	ジュニアリーダー宿泊講習会	21名
10月	第18回田園調布グリーンフェスタ	約3,000名
12月	田園調布こどもまつり	約500名
1月	青少対講演会「めざせ！みんなでオペラ歌手！」	約80名
3月	バスツアー 茨城県方面	89名

■振り返り

○ジュニアリーダー宿泊講習会（8/30～8/31）

猛暑の中、ゆいっつで一泊研修をおこないました。
社会教育主事の深谷じゅんさんに講師を依頼、ギター片手に講習スタート、まず今の自分について話し合い。
夜は野外炊飯、リーダー同士で相談しながら役割分担、じっくり作り上げた夕飯、おいしかったですね！
2日目午前もじゅんさんの講義、皆で話し合うことで謎を解いていく…、会話の大切さを学びました。
昼食は、全員で水餃子を作り！それも皮から！！
こねて伸ばして包んで茹でて！おいしく食べました。
様々なことを共有できた宿泊研修でした。



○田園調布こどもまつり（12/7）

田園調布せせらぎ館で、こどもまつりを開催しました。
手作りコーナーでは、毛糸で作る3種類の可愛いひよこや帽子の飾り。大盛況で整理券を発行。
ゲームコーナーでは、輪投げ、スライム、射的、アートバルーン、折り紙コーナーなど縁日風に。
はねぴょんも遊びに来てくれて、リーダー達大活躍！
大勢の来場者があり、楽しいイベントになりました。

○バスツアー 茨城県方面（3/8）バス2台

体験・見学施設：①グランベリー大地 いちご狩り ②ミュージアムパーク茨城県自然博物館
総勢 89名（小学生 62 リーダー14 委員・事務局 13）を8班に分け、班ごとに活動しました。
いくつもの品種が並んでいるおいしい苺、実物大の恐竜の骨などに満面の笑み+大歓声！
博物館は見どころがたくさんあり、見学時間1時間半では足りなかったくらいです。
事故なく元気に一日を過ごすことができました。参加した皆様、お疲れ様でした。



青少年対策鶺の木地区委員会

■会長挨拶

地元の方々に支えて頂きながら、こども達と楽しく活動しています。たとえば連合運動会や、ガーデンパーティー、夏休み子ども会等。

とても楽しみにして参加される方も多一方で、どうやって参加すれば良いのか、何をやっているのか知らない方々も多いと思います。皆様に知って頂き、参加して頂き、そして活動に関わって頂く。一人でも多くの方に関わって頂く事で、今後も活発に活動していく事が出来ると思っています。

これからは、参加するだけではなく、積極的に関わってくださる方が増え、次の世代に繋がる事で、地域全体が発展する事が望ましいと思います。次世代が楽しく暮らせる鶺の木を目指して活動を続けます。



青少年対策鶺の木地区委員会
会長 近藤 好秀

■目標

「こどもの活躍する機会をより多く提供する 鶺の木青少対」

■年間活動報告

月 日	行事名		
5月30日	理事会・総会	10月5日	こちらこどもクラブ 「かなり早いけどハロウィンパーティー」
6月1日	こちらこどもクラブ 「スライム作り放題！」	10月19日	鶺の木地区連合運動会
6月7日	講演会・フラワーアレンジメント	11月3日	鶺の木地区 ミニバスケットボール大会
7月6日	こちらこどもクラブ 「水で遊ぼう！」	11月29日 ~30日	活動記録写真パネル展示 (嶺町文化センター祭り内)
7月26日	夏休み子ども会【千鳥小学校】	12月19日	理事会
8月3日	高学年&ジュニアリーダー会 「お祭り準備・お菓子買い出し」	12月21日	こちらこどもクラブ 「クリスマス会」
8月23日~ 24日	高学年&ジュニアリーダー会 「お祭り出店(こどもゲームセンター)」	1月25日	こちらこどもクラブ 「お正月あそび・昭和のあそび」
8月24日	夏休み子ども会 【嶺町小学校・東調布第三小学校】	2月4日	新春懇親会
9月7日	こちらこどもクラブ 「お店のかき氷屋さんとお宝さがし」	2月22日	こちらこどもクラブ 「もちつき大会参加」

9月20日～ 21日	高学年&ジュニアリーダー会 「平和島キャンプ」・ デイキャンプ	3月8日	こちら子どもクラブ 「ロシアンベビーカステラ 等」
		3月	広報誌「うのき」発行

■振り返り

◎第29回鶺の木地区連合運動会

当日は、パンくい競走やキャタピラー競争など、こどもから大人まで楽しめる様々な種目が行われ、会場は終始、笑顔と歓声に包まれました。午前中は天気にも恵まれ、参加者が地域の方々と交流を深めながら競技を楽しむ姿が見られました。

午後からはあいにくの雨となり、一部の種目を中止せざるを得ませんでした。昼休みのアトラクションでは、東京高校チアリーディング部、大森第七中学校吹奏楽部、そして町会こども太鼓による演奏や演技が披露されました。なかでも、東京高校チアリーディング部と大森第七中学校吹奏楽部による初のコラボ演奏は迫力満点で、観客から大きな拍手と歓声が送られました。



◎デイキャンプ

嶺町小学校・東調布第三小学校・千鳥小学校のこどもたちが参加し、青空の下で飯盒炊さんとカレー作りに挑戦しました。

当日は、ジュニアリーダーの青年たちが一緒に参加して、火おこしや野菜切りをサポートしてくれました。こどもたちにとって頼れるお兄さん・お姉さんの存在はとても心強かったようです。

みんなで協力して作ったカレーの味は格別で、食べ終わった後には「おいしかった!」「またやりたい!」と笑顔が溢れていました。



◎こちら子どもクラブ

こちら子どもクラブは、ジュニアリーダーの育成を目的として、青少年対策鶺の木地区委員会が運営する希望加入制の地域子ども会です。対象は小学1年生から中学・高校・大学生までで、誰でも参加できます。

今年度は、タコ焼きパーティーやポップコーン作り&映画館ごっこなど、通常の子ども会活動のほか、ジュニア&高学年会で恒例の千鳥町お祭り出店を2日間行いました。



青少年対策久が原地区委員会

■会長挨拶

最近の傾向として青少対行事に親子で参加してもらう企画が人気です。

3月に“久が原いいところ見つけ隊”と名付けて久が原の街の名所を地図を見ながら歩いてもらい、商店街のお店にも立ち寄りお菓子のお土産もありました。

昼食は青少対の手作りで豚汁、炊き込みご飯を皆さんと食べて午後はモルック、コーンホールのゲームをスポーツ推進委員の指導で楽しく過ごしました。

子ども達の笑顔、笑い声が私たち青少対の原動力になりますね。



青少年対策久が原地区委員会

会長 おいた 種田 なおみ

■目標

青少対事業を通して、地域の子どもたちに自主性、想像力、冒険心を養わせ、また、人とのかかわりを学ぶ中で、協調心、忍耐力、他人を思いやる心を育てていく。

■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
4 月	広報誌「けやき」発行	
4 月 27 日	大田区子どもガーデンパーティー(洗足池会場)	3,916 名
5 月 20 日	理事会	13 名
5 月 27 日	総会	38 名
7 月 22 日 ～25 日	夏休みラジオ体操(久原小・松仙小)	参加者多数
7 月 26 日	松仙小 夏休みワクワクスクール	33 名
8 月 2 日	久原小 夏休みドキドキ学校	30 名
8 月 23 日 ～ 24 日	夏休み宿泊体験バスツアー	33 名
8 月 30 日	久が原児童館なつまつり	参加者多数
10 月 19 日	ふれあい久が原大運動会	1,069 名
12 月 21 日	西尾 翔登さんのピアノコンサート	110 名
2 月 22 日	もちつき大会	217 名
3 月 7 日	三木 サトルさんのオーボエコンサート	550 名
3 月 8 日	久が原いいところ見つけ隊	49 名
通年	全体会(年 11 回) 久が原地区ジュニアリーダークラブの活動 (毎月 1 回の定例会と地域行事のボランティア)	

■振り返り

夏休み宿泊体験バスツアー

8月23日から24日の2日間の日程で開催しました。

1日目は千葉県立小見川青少年自然の家でプラネタリウムやキャンプファイヤーを体験し、二日目には水鉄砲を行った後、伊能忠敬記念館など佐原周辺の観光を行いました。

みんなで協力し合いながら、夏休みの楽しい思い出を作ることができました。



もちつき大会

昨年度に引き続き久原小学校にて、もちつき大会を実施しました。

当日は天候に恵まれ、グラウンドでの開催となり、200名を超える多くの方々にご参加いただきました。

参加されたこども達が一生涯懸命お餅をつく姿が印象的でした。また、つきたてのお餅を使用したお雑煮を家族や友達と一緒に味わい、大人からこどもまで楽しめるイベントとなりました。



青少年対策雪谷地区委員会

■会長挨拶

雪谷青少対は、自治会、小・中学校、PTA、民生委員児童委員、保護司などから選ばれた66名の委員で構成されており、こどもたちが健やかに思いやりをもって成長していけるような環境をつくるため、地区全体で力を合わせて活動しています。

今後も地域の皆様のご理解・ご協力をいただきながら、青少対活動を通し、雪谷地区を盛り上げていきたいと考えております。



青少年対策雪谷地区委員会
会長 月居 利久

■目標

「地域の活性化に向けた青少年の育成」

- ① 子ども会づくりの推進 ②地域青少年の体力づくりの推進 ③地域環境浄化の推進

■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
4月11日	役員会	12人
4月27日	第74回大田区子どもガーデンパーティー	3,916人
5月5日	第43回雪谷地区野球大会	120人
5月30日	総会・懇親会	57人
6月10日	雪谷青少対だより「ゆきがや」発行	2400部
6月10日	全体会	37人
7月19日	洗足池ホタル観賞会	4,000人
8月23日 ~24日	ゆきがや子ども夏のつどい	67人
10月5日	第33回雪谷地区9自治会スポーツまつり	991人
11月3日	研修部施設見学会（中止）	0人
11月6日	役員会	8人
11月23日	第32回雪谷地区サッカー大会	120人
12月14日	研修部施設見学会	9人
12月16日	全体会	32人
1月16日	新年会	46人
2月6日	役員会	9人
3月13日	全体会	31人

■振り返り

【第74回大田区子どもガーデンパーティー洗足池会場】 令和7年4月27日(日)
雪谷青少対・久が原青少対・千束青少対と合同で、洗足池公園にて第74回大田区子どもガーデンパーティーを実施しました。天候にも恵まれ、手作りのアスレチックコーナーをはじめ、様々な地域団体による各コーナーも大盛況でした。子どもから大人まで楽しめる素敵なイベントになりました。



【第43回雪谷地区野球大会】

令和7年5月5日(月)

雪谷地区の野球チーム(池雪ジュニアストロング・小池アンタレス・雪谷スターズ)が参加する野球大会を開催しました。晴天の中、一生懸命試合に臨み、お互いに交流を深める素敵な大会になりました。

【ゆきがや子ども夏のつどい】 令和7年8月23日(土)～24日(日)

埼玉県立名栗げんきプラザにて、ゆきがや子ども夏のつどいを開催しました。

今年度は、小学校3年生～6年生までの34名が参加しました。ジュニアリーダーを中心に、初日はウォークラリー、レクリエーション、キャンプファイヤー、二日目はモルック大会、昼食時の飯盒炊爨ではカレーライスを作りました。天候にも恵まれ、すべてのプログラムを無事に終えることができました。

【第33回雪谷地区9自治会スポーツまつり】

令和7年10月5日(日)

雪谷地区最大のイベントである「雪谷地区9自治会スポーツまつり」が雪谷小学校にて開催されました。自治会・青少対・学校・PTA・消防団から構成される実行委員会で企画し、自由参加であるパン取り競争・人間キャタピラ競争・障害物競走などの競技のほか、自治会対抗競技を5種目行いました。

今年は天候にも恵まれ、大勢のボランティアや地域の方々にご参加いただき、大盛況のイベントとなりました。



【第32回雪谷地区サッカー大会】

令和7年11月23日(日)

雪谷地区小学校のサッカーチーム(池雪FC・小池FC・雪谷FC)が参加するサッカー大会を開催しました。選手の皆さんが元気いっぱい試合に取り組む姿が印象的で、熱気あふれる素敵な大会になりました。

【研修部施設見学会】 令和7年12月14日(日)

雪谷青少対研修部主催の研修会が、大田区勝海舟記念館にて開催されました。

研修を通して、地域の持つ豊かな魅力を感じることができ、良い機会となりました。

青少年対策千束地区委員会

■会長挨拶

青少年対策千束地区委員会は、自治会・町会などの各団体から選出された委員、青少年委員・スポーツ推進委員の、総勢 61 名で構成され、各種事業を実施しています。

長年にわたる青少対活動にご理解・ご協力をいただいている地域の皆様、関係者の皆様に感謝を申し上げ、子どもたちが健やかにたくましく育っていただける地域づくりを目指して精進して参ります。



青少年対策千束地区委員会
会長 櫻井 汎

■年間活動報告

実施月	活動名	参加人数
4月	第54回千束地区春季少年野球大会	全13チーム
5月	総会 青少対会議1回目	
6月	青少対会議2回目	
7月	青少対会議3回目 第63回調布地区少年野球大会 洗足池ホテル観賞会	約4,000名
8月	早起きこども会 夏休みこども映画会	延べ703名 32名
9月	第46回千束地区秋季少年野球大会 青少対会議4回目	全13チーム
10月	青少対会議5回目 自然と親しむ会 第29回千束地区スポーツ祭り	37名 556名
11月	委員研修講演会	30名
12月	手づくり教室	12名
1月	青少対会議6回目	
2月	理事会 第38回洗足池マラソン大会	273名
3月	木工教室 広報誌『千束だより』発行	24名

■早起きこども会

8月1日（金）～8月7日（木） 千束八幡神社

8月1日から7日まで、千束八幡神社にて早起きこども会を実施しました。一週間で延べ703名が参加しました。朝の早い時間からこどもたちが参加し、八幡神社はにぎわっていました。一週間のあいだ早起きして体を動かすことで、夏休みのいいスタートを切ることができたのではないのでしょうか。



■自然と親しむ会

10月5日（日） いもほり・ソレイユの丘



今年度は37名のこどもたちが参加しました。津久井浜観光農園ではいもほり体験を行い、いもを掘り出すたびにこどもたちから歓声が上がりました。ソレイユの丘ではピザ作りを行い、それぞれこだわってピザの盛り付けをし、美味しいピザが出来上がりました。秋の良い思い出になりました。

■手づくり教室

12月7日（日）千束特別出張所

今年度の手づくり教室には、12名のこどもたちが参加し、フェルトを使ったモコモコツリーとかわいいリース作りに挑戦しました。

フェルトを重ねて形を整えたり、ボンドで貼り合わせたり、こどもたちは工夫しながら一生懸命取り組んでいました。

ボランティアの中学生たちにも助けをもらいながらひとつひとつ丁寧に作ることができました。



■第38回洗足池マラソン大会

2月15日（日）洗足池周辺

毎年、千束地区少年野球協会主催で行っているマラソン大会です。

大会前になると、洗足池周辺で練習しているこどももたくさん見られました。

大会当日は、洗足池公園こども広場をスタートし、学年ごとに決められた回数だけ洗足池周辺を周回します。こどもたちは寒さに負けず、一生懸命ゴールを目指していました。



青少年対策糶谷地区委員会

■会長挨拶

青少年対策糶谷地区委員会は、地域の自治会・町会、小・中学校、PTA、民生委員児童委員協議会、保護司会など各団体から選出された委員と青少年委員、スポーツ推進委員、地域リーダーによる73名の委員で構成されています。

そして、総務部、広報部、青年部、少年部の部会制をとり、委員会内に組織されているジュニアクラブ育成会とも連携して、子どもガーデンパーティー、連合運動会、子どもフェスティバルなど様々な活動を行っています。

実施した事業の一部をご紹介します。



青少年対策糶谷地区委員会
会長 松原 敏彦

■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
6月	令和6・7年度青少年対策糶谷地区委員会総会	43人
6月	糶谷地区小中学校PTA懇談会	30人
6月	青少対糶谷地区だよりNo. 89	
7月	男子ソフトボール春季大会	140人
7月	糶谷地区小中学校PTA講演会	21人
8月	第46回夏季野球・ソフトボール大会	240人
10月	第64回糶谷地区連合運動会	1,564人
10月	第40回糶谷地区子どもフェスティバル	309人
11月	男子ソフトボール秋季大会	雨のため中止
11月	インディアカ大会	21人
12月	こどもクリスマス会	48人
1月	第8回糶谷クリーンピック	149人
1月	青少対糶谷地区だよりNo. 90	
1月	お別れソフトボール大会	100人
2月	お別れドッジボール大会	86人

■振り返り

◎第64回糀谷地区連合運動会

令和7年9月28日（日）



個人種目の他、糀谷地区10の自治会・町会で競われる町会対抗種目では日頃の練習の成果が発揮され、最後の競技までどの町会が優勝するかわからない接戦となり、声援にも熱が入りました。

また、糀谷中学校の生徒による、軽音楽、和太鼓の発表もありました。

◎第40回糀谷地区子どもフェスティバル

令和7年10月19日（日）

第40回糀谷地区子どもフェスティバルが糀谷文化センターと西糀谷さざんか公園で開催されました。当日は小雨に見舞われつつも、309名のこどもたちが元気に参加し、楽しい時間を過ごしました。今回で40回を迎えたこのフェスティバルは、次回以降も青少年対策糀谷地区委員会を中心に、地域の方々と連携しながら、より多くのこどもたちが楽しめる催しとして盛り上げていきます。



◎第8回糀谷クリーンピック

令和8年1月18日（日）



糀谷クリーンピックは、糀谷地区美化推進を目指して、3～5名で1チームとし、制限時間内に定められたエリア内で拾ったごみの重さを競い合います。

当日は36チーム、149名の方が参加され、当日拾ったごみの総量はなんと、120.35キログラムにもなりました。

また、開催してほしいとの意見も多く寄せられました。

青少年対策羽田地区委員会

■会長挨拶

ネット時代になり、青少年犯罪は複雑化の一途をたどっています。我々が子育てをしていた時代とは状況が全く異なりますので、この時代に備えた新しい知識が必要になります。

自分たちを青少年健全育成のベテランと奢らずに、常に勉強を怠らない真摯な姿勢が求められます。

講習会等に積極的に参加して、知識をアップデートしましょう。



青少年対策羽田地区委員会
会長 金田 行英

■目標

ネット時代の新しい知識を身に付けて青少年健全育成に役立てよう

■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
4月27日	大田区子どもガーデンパーティー萩中会場	4,000人
7月6日	青少年応援プロジェクト@羽田	38人
10月4日～5日	オータムキャンプ	17人
10月17日	羽田中学校 HUG 体験	51人
10月19日	第14回ふれあいまつり羽田・萩中	4,500人
11月1日	てんくう第45号発刊	
11月16日	たこづくり講習会	30人
12月13日	出雲中学校 HUG 体験	15人
12月14日	クリスマス会	40人
1月18日	新春親と子のレクリエーション大会	220人
2月7日	羽田・蒲田西地区青少対合同バス研修	38人
3月1日	はねだののぞみ第56号発行	
3月1日	てんくう第46号発刊	

◎出雲中学校 HUG 体験会 令和7年12月13日(土)

【出雲中学校】

中高生の交流と防災意識の向上を目的に『やっこさんの会』新倉 太郎氏を講師としてお招きし、出雲中学校・つばさ総合高校・羽田国際高校の生徒を対象にHUG（避難所運営ゲーム）体験会を実施しました。

近年増加する自然災害について関心が高まるだけでなく、羽田地区の中学生と高校生、そして青少対の結びつきが強まる良い体験会となりました。



出雲中学校図書室

◎クリスマス会 令和7年12月14日(日)

【萩中集会所】

小学1～6年生を対象に、クリスマス会（英語でビンゴやストロー飛行機作り）を行いました。

ビンゴでは楽しみながら英語を学び、ストロー飛行機作りでは参加者の皆さんが自身の力作を一番遠くに飛ばそうと盛り上がっていました。

また、はねぴょんも会場に駆け付け、こどもたちの笑顔がはじけるイベントになりました。



萩中集会所体育室

◎新春親と子のレクリエーション大会

令和8年1月18日(日)

【多摩川大師橋緑地】

町会・PTA・小中学校にご協力をいただき、毎年恒例の新春親と子のレクリエーション大会を開催いたしました。

富士山が見えるほどの晴天の中220人も参加者が凧揚げや昔あそび体験等を元気いっぱい楽しみました。



多摩川大師橋緑地

■振り返り

令和7年度では各部会が積極的に活動し、例年実施しているイベントのなかでも新たな催し物の企画をしたり、新たに宿泊研修を実施するなど時代とともに変化する社会において、今の小中学生の健全な育成に何が必要となるのかを考え、実行するというチャレンジを多く試みた充実した一年となりました。

また、令和8年度は「大田区子どもガーデンパーティー 萩中会場」の主幹を羽田地区が担当いたします。すでに実行委員会にて準備を着々と進めております。こども達に楽しんでもらえるようなガーデンパーティーになるよう引き続き進めていきます。

これからも伝統を大切にしながら、時には時代の変化に合わせて、こどもたちに寄り添う地域団体であり続けたいと思います。

青少年対策六郷地区委員会

■会長挨拶

令和7年度は内部の組織編成を大きく変更して各部の事業と全体の事業の円滑化を計りました。これにより各部間の意思疎通が良くなり、各事業も活性化致しました。

新しく入会の希望者も増えて、これから5年後 10 年後も生き生きとした六郷青少対の活動を目指してがんばります。

「六郷地域全体でこどもを育てる」を継続テーマとして、青少年対策六郷地区委員会元気で楽しく安全な環境作りに邁進して参ります。



会長 野村 和子

■目標

「みんなで見守ろう 六郷の子供たち」

■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
5月21日	総会	56名
6月	青少対ニュース109号	6,000部
6月14日	第6回六郷ポッチャ大会	49名
7月9日	第75回社会を明るくする運動六郷地域集会	120名
10月5日	第37回六郷ウォークラリー大会	65名
10月13日	第2回六郷こども運動会	62名
12月14日	六郷こどもまつり	25名
1月22日～ 1月29日	六郷ふれあい展覧会	25名
1月17日	第7回六郷ポッチャ大会	46名
2月8日	第43回六郷卓球大会	34名
3月	青少対ニュース110号	6,000部

青少年対策六郷地区委員会は、地区内の自治会・町会や小・中学校、PTA関係者、青少年委員、スポーツ推進委員、保護司、民生委員児童委員、青少対会長推薦委員の総数 101 名で構成されています。各事業は少年部・青年部・ジュニアリーダー部の3部に分かれて実施しています。

今年度実施した事業の中からいくつかご紹介します。



第2回六郷こども運動会【少年部】

宅配物リレー、パン取り競争、バスケットボール対決など様々な競技を行いました。異なる小学校のこどもたちでチームを作り、大会が終わる頃にはとても仲が深まっている様子でした。

第37回六郷ウォークラリー大会【青年部】

こどもから大人まで楽しんでいただくことができる本大会ですが、今年度は65名の方にご参加いただきました。大会後のアンケートでは、「普段は歩かない六郷地区で、ゲームを通じた街歩きができてとても楽しかった」などの感想をいただきました。



六郷ふれあい展覧会【少年部】

六郷地区在住・在学の小学生を対象に絵を募集し、六郷地域力推進センター1階ロビーに展示しました。

「自由に絵を描いてみよう！」をテーマに、富士山や動物などを描いた、計25作品！すべて個性あふれる素敵なものでした。

六郷こどもまつり【ジュニアリーダー部】

12月14日（日）に六郷地域力推進センターでこどもまつりを開催しました。手作り工作や迷路といった、お祭りのように賑わうコーナーもあり、来場者25名全員が大いに楽しめる催しとなりました。



青少年対策矢口地区委員会

■会長挨拶

今年度は矢口特別支援学校の広い体育館と駐車場をお借りして、「矢口子どもフェスティバル」を開催させていただきました。当日は生憎の雨でしたが、体育館での傘袋ロケットにゲーム、駐車場での牧田総合病院の赤ちゃんお世話体験コーナー、支援学校生徒の自作物品を生徒自身が販売、その他たくさんのコーナーもあり楽しい一日になりました。これからも、子どもたちにいろいろな体験等を通して明るく笑顔あふれる活動に取り組んでまいります。



青少年対策矢口地区委員会
会長 渡邊 義太

■目標

子どもたちの笑顔あふれる明るく楽しい地域

■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
4月27日	第74回大田区子どもガーデンパーティー	約10,000人
5月21日	委員総会	72名
6月	ユース瓦版166号発行	
7月19日、 20日	矢口キャンプ村	56名
8月27日	委員研修会（自転車に関する安全講話）	31名
10月19日	多摩川清掃工場環境フェア協力参加	700名
11月9日	矢口子どもフェスティバル2025	300名
12月14日	クリスマスパーティー （リーダー講習会矢口地区受講者対象）	39名
1月	ユース瓦版167号発行	
1月21日	新春地域懇親会	62名
2月8日	矢口ファミリープラザ2026	約400名
3月8日	矢口バスハイク	47名
3月29日	二十一世紀桜まつり協力参加	

■ 振り返り

大田区子どもガーデンパーティー

【会場】多摩川大橋緑地

4月27日、多摩川大橋緑地で子どもガーデンパーティーが行われ、多くの家族連れで賑わいました。名物の土手すべりは今年も人気で、ミニ動物園やスーパーボールすくいにも順番待ちができました。模擬店の焼きそばは早めに売り切れとなり、来場者の満足度が感じられる、にぎやかな一日となりました。



矢口キャンプ村

【会場】平和島公園キャンプ場、

大田区青少年交流センター

7月19日、20日に夏の行事「矢口キャンプ村」が実施され、平和島プールや水族館の見学、キャンプファイヤー、飯盒炊飯などに挑戦しました。猛暑の中でも休憩や水分補給を徹底し、安全に二日間を過ごしました。宿泊先“ゆいっつ”ではゆったりと過ごすことができ、こどもたちにとって思い出に残る夏の体験となりました。



矢口子どもフェスティバル 2025

【会場】東京都立矢口特別支援学校

11月9日、東京都立矢口特別支援学校で「矢口こどもフェスティバル 2025」が行われ、約300名が参加しました。工作や遊びを通じて地域と学校の交流が深まり、会場には温かな雰囲気が広がりました。雨天にもかかわらず多くの家族が訪れ、こどもたちが思い思いに楽しむ姿を見られる一日となりました。



青少年対策蒲田西地区委員会

■会長挨拶

今年度は、「各小中学校区子どもまつり」や「かまにしふれあい運動会」、
「冬の親子バスハイク」などの事業や、蒲田西地区委員会が主管として
「蒲田地域リーダー講習会」を実施いたしました。

また、これらの事業にはジュニアリーダーたちも積極的に関わっており、
我々委員も子どもたちの成長を見届けています。

今後も、研修等を通じて委員個々の向上心を喚起し、
子どもたちの心豊かな体験を実現するために充実した企画を行い、
より一層子どもたちの健全育成に努めてまいります。



青少年対策蒲田西地区委員会
会長 角田 政春

■目標

か ま た の ま ち っ こ た く ま し く

■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
7月1日	広報誌「根っ子50号」発行	
8月23日	相生小学校区子どもまつり	280人
8月30日	矢口東小学校区子どもまつり	520人
9月28日	道塚小学校区子どもまつり	238人
10月5日	矢口小学校区子どもまつり	400人
10月19日	かまにしふれあい運動会	329人
11月1～2日	OTAふれあいフェスタ	
12月6日	おなづか小学校区子どもまつり	115人
1月18日	冬の親子バスハイク	31人
2月17日	小中学校と自治会・町会長と青少対との懇親会	61人
3月20日	広報誌「根っ子51号」発行	

■振り返り

★かまにしふれあい運動会

地域の方々が参加できる運動会を開催しました。

雨天により一部種目が中止となりましたが、玉入れ、障害物競争、リレーを実施し、大人も子どもも終始白熱した運動会となりました。



★OTA ふれあいフェスタ

蒲田西地区委員会としては両日参加し、模擬店を出店しました。

1日目と2日目の模擬店では、お菓子釣り、たこ焼き、玉こんにゃく、コロケ、チュロスを販売し、大盛況の売り上げを達成しました。



★冬の親子バスハイク

○実施日 令和8年1月18日(日)

○事業内容 自然と生き物とのふれあい、ソレイユの丘の散策等

○参加人数 参加者：31名

今年は、神奈川県の見音崎遊歩道・自然博物館、ソレイユの丘に行きました。遊歩道を歩き、自然と生き物に触れ合い、ソレイユの丘では散策や乗り物体験等をして、寒さを忘れて楽しみました。

★各小学校区子どもまつり

○相生小学校区子どもまつり

内容：ずぶ濡れまつり

○道塚小学校区子どもまつり

内容：スポーツフェスタ

○おなづか小学校区子どもまつり

内容：ミニ運動会

○矢口東小学校区子どもまつり

内容：子どもまつり

○矢口小学校区子どもまつり

内容：町会対抗親子運動会

蒲田西地区では、管内の5つの小学校を会場に、子どもまつりを開催しています。毎年、小学校区ごとに子どもたちに楽しんでもらうために趣向を凝らした行事を企画しています。青少対委員と学校とPTAの方々が協力し合い、地域が一体となる非常に良い機会であり、子どもたちにとっても楽しみながら地域を知る場となっています。



道塚小学校区子どもまつり



おなづか小学校区子どもまつり



矢口小学校区子どもまつり

青少年対策蒲田東地区委員会

■会長挨拶

蒲田東地区委員会は、自治会・町会、小・中・高校の学校長やPTA等様々な団体から選出された66名で構成され、子どもたちが楽しめる場の提供に勤めています。

令和7年度の活動として11月には、初の試みとなるナゾトキウォークラリーを開催し、蒲田東地区の一時集合場所をチェックポイントにしてナゾトキをしながら親子で巡る楽しいイベントを実施しました。

また、12月には、地域講演会を開催し、「子どもたちが学び発言することの大切さと、それを支える地域社会について」と題したお話により地域全体で理解を深めることができました。

1月には、ポッチャ交流大会を東蒲小学校の体育館で開催しました。最初は難しく感じられたルールも、審判の皆さんの丁寧な指導のもと、回数を重ねるごとに白熱した試合となりました。

3月には、防災体験会を企画しています。平和島のゆいっつ、キャンプ場で、防災士のお話や非常食を使った調理体験をする予定です。

蒲田東地区委員会では、これからも未来へはばたく子どもたちの健全育成のため、委員が心をひとつにして、様々なイベントを企画運営していきます。



青少年対策
蒲田東地区委員会
会長 松坂 俊之

■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
7月6日	委員研修	17人
8月24日	夏のお楽しみ会 防災体験 【ジュニアリーダークラブ】	31人
10月25日	秋のお楽しみ会 花火を楽しむ夕べ 【ジュニアリーダークラブ】	雨天中止
11月16日	ナゾトキウォークラリー	34人
12月14日	地域講演会	300人
12月21日	冬のお楽しみ会 ポッチャ・モルック等 【ジュニアリーダークラブ】	13名
1月18日	ポッチャ交流大会	55人
3月21日	防災体験会	29名
3月21日 ～22日	春のお楽しみ会 宿泊体験 【ジュニアリーダークラブ】	18名
祭礼時	地域パトロール	

■振り返り



◎ナゾトキウォークラリー

令和7年11月16日（日）蒲田地域庁舎ほか
ナゾトキウォークラリーでは、蒲田地域庁舎をスタートして、ナゾトキをしながら管内の一時集合場所を巡りました。難問も多くなかなか苦労する場面もありましたが、親子で知恵を出し合いゴールする達成感を得られたイベントでした。

◎地域講演会 令和7年12月14日（日） アプリコ地下1階展示室

地域講演会では、地域教育コーディネーターの村宮汐莉さんに登壇いただき、「こどもたちが学び、発言することの大切さと、それを支える地域社会」について講演をいただきました。

講演では、学生時代の経験や地域との関わりを通じて、勇気を出して発言、行動してきた成果をお話しいただき、地域全体でこどもたちを支援していく仕組みの重要性について学ぶ機会となりました。



◎ボッチャ交流大会

令和8年1月18日（日）東蒲小学校体育館

ボッチャ初参加の方、学校の授業でやったことがある経験者など参加者の力量は様々でしたが、みなさん試合回数を重ねるごとにルールを覚えて、夢中になって楽しんでいる様子が伺えました。

◎ジュニアリーダークラブ

夏の防災体験、冬のボッチャ・モルック、春の宿泊研修など、年3回のお楽しみ会を実施し、延べ63名にご参加いただきました。

また、秋には花火を楽しむ夕べを実施しています。
（今年度は雨天のため中止となりました）



(2) リーダー講習会

令和7年度 大田区リーダー講習会(小学生対象)

学校教育での体験が難しい社会活動や野外活動などを中心に、異年齢間の交流・協調・グループワークの楽しさを習得する場として、大森・調布・蒲田の3地域で開催しています。

開催にあたっては、大田区青少年対策地区委員会会長会に事業委託をしています。

1 ねらい

- (1)小学生が文化的創作活動、スポーツ・野外活動などを通して自らの興味、関心の幅を広げつつ個性を伸ばし、自ら学び自ら考えることができる「生きる力」を育む。
- (2)小学生が身近な地域において学校、学年を超えた集団活動、社会活動を体験することによって社会性を身につけ、集団のリーダーとしての資質を向上させる。
- (3)小学生が社会活動などを通して地域の中学・高校生リーダー、大人たちとふれあうことによって、社会参加の芽を自ら養う。
- (4)地域力の向上につながる「あいさつ運動」を活動に取り入れて、あいさつの重要性を認識させ、社会の中での人との関わり等社会性を身につける。

2 対象 区内の小学5・6年生(ただし、応募者が少ない場合は小学4年生も可)

3 定員 各地域の実情に応じて設定

4 受講者数 137名〔大森〕40名〔調布〕40名〔蒲田〕57名

5 修了者数 136名〔大森〕39名〔調布〕40名〔蒲田〕57名

《各地域のプログラム内容》

◆大森地域

回	開催日時	会場	内容	受講者数
1	6月1日(日) 10:00~15:00	開桜小学校	開講式 オリエンテーション レクリエーション	38名
2	6月29日(日) 10:00~15:00	スマイル大森	ダンス レクリエーション	40名
3	7月27日(日) 10:00~15:00	馬込中学校	ドッジビー レクリエーション	32名
4	8月23日(土) 7:00~	国立信州高速青年自然の家	宿泊講習	36名
5	8月24日(日) ~18:00	国立信州高速少年自然の家	宿泊講習 アクティビティ	36名
6	10月5日(日) 10:00~15:00	池上会館	クッキング レクリエーション	34名
7	11月16日(日) 10:00~15:00	池上会館	落語 レクリエーション	34名
8	12月7日(日) 10:00~12:00	開桜小学校	閉講式	35名

◆調布地域

回	開催日時	会場	内容	受講者数
1	6月8日(日) 9:30~15:00	嶺町文化センター	開講式・Tシャツ作り	36名
2	7月13日(日) 9:15~15:00	嶺町文化センター	ゲーム講習	37名
3	7月27日(日) 9:15~15:00	雪谷文化センター	リトルフェスタ (班対抗ゲーム大会)	34名
4	8月9日(土) 7:00~ 8月10日(日)	国立那須甲子青少年自然の家	宿泊講習	34名
5	9月7日(日) 9:10~17:30	JAL 工場 羽田 PIO パーク	施設見学	34名
6	10月12日(日) 9:10~15:30	平和島キャンプ場	飯ごう炊さん&カレー作り	35名
7	11月16日(日) 9:15~15:00	洗足池	調布地域ウォークラリー	27名
8	12月14日(日) 9:15~15:00	嶺町文化センター	お楽しみ会・閉講式	32名

◆蒲田地域

回	開催日時	会場	内容	受講者数
1	5月25日(日) 10:00~15:00	カムカム新蒲田	開講式 班プレート作成、モルック	56名
2	6月22日(日) 8:45~16:45	羽田空港	羽田空港見学 JAL 第1格納庫 空港事務所~管制塔 滑走路見学~消防署	49名
3	7月13日(日) 10:00~15:00	御園中学校	デフリンピック ・元代表選手とふれあう モルック	54名
4	8月2日(土) 10:00~ 8月3日(日) 15:00	青少年交流センターゆいっつ 平和島キャンプ場	キャンプ、宿泊体験、 キャンプゲーム モルック	53名
5	9月21日(日) 10:00~15:00	日本科学未来館	地球の未来を学ぼう	49名
6	10月26日(日) 10:00~15:00	カムカム新蒲田	JRを知る 鉄道員の業務を学ぼう	48名
7	11月23日(日) 10:00~15:00	日本工学院専門学校	工学院体験、番組製作体験 アフレコ体験、イラスト体験	49名
8	12月7日(日) 10:00~15:00	カムカム新蒲田	閉講式 モルック決勝戦・表彰	49名

令和7年度 大田区リーダー講習会（中高生対象）

【通称：ティーンズパワーあっぷセミナー】

地域活動における青少年リーダーの育成を図るため、中学・高校生を対象に、地域活動で必要なリーダーシップや指導技術を身につけることを目的に開催しています。

◎受講者数 14名（中学生 10名／高校生 4名）

回	開催日時	内容	会場
1	4月20日（土） 10:00～15:00	開講式 アイスブレイク	青少年交流センターゆいっつ
2	4月29日（火・祝） 10:00～15:00	チーム体験プログラム 野外料理準備	青少年交流センターゆいっつ
3～4	5月17日（土）～18日（日） 10:00～15:00	飯ごう炊飯 キャンプファイヤー	青少年交流センターゆいっつ
5	6月8日（日） 10:00～15:00	レクリエーション実 習・実践編 受講生企画	消費者生活センター
6	8月7日（木） 13:00～17:00	体験型地域防災講座	青少年交流センターゆいっつ
7	8月21日（木） 10:00～15:00	レクリエーション	消費者生活センター
8	9月7日（日） 10:00～15:00	閉講式 修了証授与	カムカム新蒲田

【講習会の様子】



↑ 宿泊講習にて、受講生が協力してキャンプファイヤーを行っている様子。



↑ 多様なレクリエーションを学び実践することで、講座を企画・運営するノウハウを体得しています。

令和7年度 大田区リーダー講習会（成人対象）

「もしものこどものケガに備える！

救急セットの作り方と応急手当実践講座」（講師：渡辺 直史氏）

夏休みを前に、イベントで発生しがちな、救急搬送を伴わないケガの「応急手当」や「病院受診の目安」を実践的に習得する講座です。各自・各団体の救急セットを持ち寄り、イザというとき“必要な救急道具”と“適切な応急処置”を学びました。

◎受講者数 13名

開催日時	内容	会場
7月19日（土） 13：00～17：00	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの救急セットから学び合おう ・年齢・人数・活動内容に合わせた救急セットの作り方 ・こどもによくあるけがの応急手当と受診の目安 ～止血や固定、RICE 処置等の実践ワークショップ～	男女平等推進センターエセナおおた第2学習室



「発達が気になるこどもへの声の掛け方・接し方講座」（講師：水村 賢治氏）

当事者の感覚や気持ちを疑似体験することで、ケアの仕方やプログラムの組み立て方について学びました。

◎受講者数 18名

開催日時	内容	会場
2月11日（水・祝） 13：00～17：00	<ul style="list-style-type: none"> ・特性を持つこどもの不安を和らげる声の掛け方・接し方のポイント ・当事者の感覚や気持ちの疑似体験。（読みにくさや書きにくさの体験、相手の気持ちを想像するようなワーク） ・ロールプレイディスカッション 様々な場面での「ありがちな声掛け」と「より適切な声掛け」を学び、安心できる環境作りに繋げる。	消費者生活センター大集会室



(3) 青少年表彰式

大田区青少年表彰式

大田区では、青少年又は青少年団体が日頃行っている活動をたたえ、活動の一層の普及と活動意欲の高揚を目指し、青少年表彰を実施しています。

令和7年度は、個人70名、団体15団体が表彰されました。

「令和7年度大田区青少年表彰式～はばたけ!!未来へ～」

- 1 日時 令和8年3月1日（日）
- 2 会場 大田区民プラザ 大ホール
- 3 内容 ◆区長挨拶
◆議長挨拶
◆表彰状授与
◆受賞者代表スピーチ（入新井ジュニアリーダー 橋田 悠介）

《被表彰者数》

部 門	個人	団体
模範青少年部門	33	0
善行青少年部門	3	1
スポーツ及び文化部門	34	14
合 計	70 名	15 団体

令和7年度 大田区青少年表彰 被表彰者名簿

◇模範青少年部門(個人表彰 33名)

No	氏名	表彰行為
1	かわしま 川島 ゆい	大森西地区ジュニアリーダーとして活躍 地域活動に積極的に参加し、こどもたちの指導に当たっている。
2	いわざき ももか 岩崎 萌々香	入新井地区ジュニアリーダーとして活躍 地域活動に積極的に参加し、こどもたちの指導に当たっている。
3	はしだ ゆうすけ 橋田 悠介	
4	のぐち あか 野口 灯り	
5	よこはた みのり 横畑 美ノ利	千束地区ジュニアリーダーとして活躍 地域活動に積極的に参加し、こどもたちの指導に当たっている。
6	たかやなぎ みお 高柳 美緒	
7	ほんだ はゆる 本田 映	
8	たかはし ななえ 高橋 七恵	矢口地区ジュニアリーダーとして活躍 地域活動に積極的に参加し、こどもたちの指導に当たっている。
9	おおばやし みくう 大林 未空	蒲田西地区ジュニアリーダーとして活躍 地域活動に積極的に参加し、こどもたちの指導に当たっている。
10	かつ やちる 勝 八千琉	蒲田東地区ジュニアリーダーとして活躍 地域活動に積極的に参加し、こどもたちの指導に当たっている。
11	みうら けん 三浦 拳	
12	てらい りんか 寺井 凜華	
13	たかはし りょう 高橋 諒	大森交通少年団として活躍 交通安全について、地域への普及啓発活動を積極的に行っている。
14	にしむら ほのか 西村 帆乃佳	
15	しらかわ よしむね 白川 義宗	田園調布交通少年団として活躍 交通安全について、地域への普及啓発活動を積極的に行っている。
16	くさがや けいせいらう 草ヶ谷 啓太郎	
17	ごとう ゆうき 後藤 裕貴	蒲田交通少年団として活躍 交通安全について、地域への普及啓発活動を積極的に行っている。
18	そうざやま るい 寒水山 琉依	池上交通少年団として活躍 交通安全について、地域への普及啓発活動を積極的に行っている。
19	やまぐち なぎ 山口 凧	大森消防少年団として活躍 防火・防災について、地域への普及啓発活動を積極的に行っている。
20	みとめ ひなの 三留 弘梨乃	
21	つみた ちさと 積田 千慧	
22	いしわた ひとみ 石渡 瞳	田園調布消防少年団として活躍 防火・防災について、地域への普及啓発活動を積極的に行っている。

No	氏名	表彰行為
23	すずき さら 鈴木 紗蘭	蒲田消防少年団として活躍 防火・防災について、地域への普及啓発活動を積極的に行っている。
24	たていし みはね 立石 美羽	
25	かとう しゆい 加藤 思惟	
26	こんどう けいすけ 近藤 慶典	矢口消防少年団として活躍 防火・防災について、地域への普及啓発活動を積極的に行っている。
27	なかにし なつお 中西 夏男	
28	たかい ここ 高井 瑚子	
29	ひらの うらら 平野 うらら	
30	いしい ひな 石井 陽菜	下丸子四丁目町会子ども育成部子ども会の班長として、地域行事へ積極的に参加している。
31	いまはし きほ 今橋 希帆	
32	わたなべ ほのか 渡邊 穂乃花	多摩川諏訪囃子の稽古企画部長として、後輩の指導や地域行事へ積極的に参加している。
33	わたなべ しずく 渡邊 雫	多摩川諏訪囃子のジュニアリーダーとして、後輩の指導や地域行事へ積極的に参加している。

◇善行青少年部門(個人表彰 3名)

34	イスラム ファルザン	電柱脇で倒れている女性に対して、保健体育の授業で身につけた応急処置及び救急通報対応を行い、人命救助を行った。
35	かとう そうや 加藤 蒼也	
36	きたほら りょう 北洞 遼	

◇善行青少年部門(団体表彰 1団体)

No	団体名	表彰行為
37	大田区立大森第三中学校	豪雨災害に見舞われた際に、浸水している住宅や福祉施設の排水ボランティアを行い、復帰に大きく貢献した。

◇スポーツ及び文化部門(個人表彰 34名)

スポーツ

No	氏名	表彰行為
38	おざき またい 尾崎 茉大	令和7年度(第48回)全日本少年少女武道練成大会 団体(形/組み手) 小学1・2年生の部 優秀賞
39	はらふじ じょうじ 原藤 成治	第9回全日本自転車競技選手権大会 BMXフリースタイル・フラットランド ボーイズ7-9 優勝

No	氏名	表彰行為
40	いとう がく 伊東 楽	カラテドリームフェスティバル2025全国大会 組手 小学四年生男子 重量級 準優勝
41	かとう てると 加藤 耀翔	2025全日本ユース空手道選手権大会 小学4年生男子上級軽量級の部 第3位
42	あおやぎ ゆうすけ 青柳 由介	第22回 全国少年相撲選手権大会 個人戦 小学4年生男子 優勝
43	さとう こうた 佐藤 琥太	第37回全国ショートテニストーナメント大会 小学校3・4年の部 男子 第3位
44	せきぐち あやの 関口 文乃	第37回全国ショートテニストーナメント大会 小学校5・6年の部 女子 第3位
45	なかだ ひなこ 中田 陽愛子	第6回全日本バトントワーリングジュニア選手権大会 ソロトワール女子U-9 第1位
46	すぎの きゆり 杉野 小百合	第42回全国少年少女レスリング選手権大会 女子の部5年生 優勝
47	いまま そうき 今濱 壮紀	パルオニJAPAN CUP 2025 U-12部門 優勝
48	ないとう ゆうが 内藤 優芽	第55回全国中学校剣道大会 準優勝
49	なかむら ゆうと 中村 勇翔	第1回 U-13 ポニーワールドシリーズ 優勝
50	おかじま ののか 岡島 希果	令和7年度全国中学校体育大会 第65回全国中学校水泳競技大会 女子200m 自由形 第2位
51	とざわ いちろ 戸澤 一路	第78回 東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会 男子3年 走高跳 第1位
52	うちだ じえい 内田 慈英	第73回東京都中学学年別水泳競技大会 3年男子100m 平泳ぎ 第1位
53	ふくい なつき 福井 菜月	第73回東京都中学学年別水泳競技大会 3年女子50m 平泳ぎ 第1位
54	いのうえ しゆんたろう 井上 隼太郎	第78回東京都高等学校陸上競技対校選手権大会 男子5000m競歩 優勝
55	いまむら たいち 今村 太一	第79回国民スポーツ大会 ラグビーフットボール競技 第3位
56	かわしま るり 川島 瑠莉	第65回東京都高等学校テニス選手権大会 女子シングルス 優勝
57	かわばた りさと 川端 梨聖	第19回U18陸上競技大会 女子走幅跳 第2位
58	ケリー えりか ケリー 瑛梨花	第78回東京都高等学校陸上競技対校選手権大会 女子100m 優勝
59	すずき りみ 鈴木 莉未	第78回東京都高等学校陸上競技対校選手権大会 女子ハンマー投げ 優勝
60	てしま けいた 手島 敬汰	第78回全国高等学校陸上競技対校選手権大会 男子八種競技 第2位
61	にしお ゆうた 西尾 優汰	第78回東京都高等学校陸上競技対校選手権大会 男子走幅跳 優勝
62	はらだ そうすけ 原田 颯輔	令和7年度関東高等学校陸上競技大会 男子円盤投 優勝

No	氏名	表彰行為
63	ひろた ひかり 廣田 ひかり	第78回東京都高等学校陸上競技対校選手権大会 女子100mハードル 優勝
64	ふくみや かじゅん 福宮 佳潤	令和7年度関東高等学校陸上競技大会 男子砲丸投 優勝
65	むらやま ジョイ ぼーぶ 村山 ジョイ 希望	第19回U18陸上競技大会 女子円盤投 優勝
66	かいざわ だいち 開澤 大地	第70回東京都高等学校総合体育大会柔道競技大会 個人100kg級 優勝
67	こくりょう りゅうま 國料 瑠真	第70回東京都高等学校総合体育大会柔道競技大会 個人90kg級 優勝
68	こまつ みきあ 小松 幹明	令和7年度東京都高等学校総合体育大会体操競技大会 個人総合 優勝
69	にのみや そうすけ 二宮 颯祐	令和7年度全国高等学校体育大会相撲競技大会 個人80kg級 第3位

文化

No	氏名	表彰行為
70	こばやし さやか 小林 咲弥花	第4回全国小中学生動画コンテスト FULMA Creator Awards 2025 優秀賞
71	よこて まさき 横手 将生	第46回文部科学大臣杯少年少女囲碁大会 中学生の部 優勝

◇スポーツ及び文化部門(団体表彰 14団体)

スポーツ

No	団体名	表彰行為
72	大田ボーイズ	第52回東京都小学生男子春季ソフトボール大会 優勝
73	矢西徳持ビクトリー	第52回東京都小学生男子秋季ソフトボール大会 優勝
74	雪谷バトンクラブジュニアチーム	第60回記念バトントワーリング関東大会 U-18 金賞 全国大会出場推薦
75	チェリーズバトンクラブ すずき すずきり (鈴木そよ・鈴木瑠莉)	第38回関東バトントワーリングコンテスト ペア U-12 第1位
76	チェリーズバトンクラブ あくつ ひなの のせ ともか (阿久津陽菜乃・野勢朋花)	第38回関東バトントワーリングコンテスト ペア U-15 第2位
77	チェリーズバトンクラブ	第60回記念バトントワーリング関東大会 U-12 金賞 全国大会出場推薦
78	大田区立南六郷中学校男子バレーボール部	第55回全日本中学校バレーボール選手権大会 第3位
79	MALCO	WORLD JUMP ROPE CHAMPIONSHIPS 2025 ダブルダッチ ジュニア女子部門 シングルフリースタイル 第2位 ダブルダッチ ジュニア女子部門 スピードリレー 第2位
80	LOGIA	WORLD JUMP ROPE CHAMPIONSHIPS 2025 ダブルダッチ ジュニア女子部門 スピードリレー 第4位
81	D. D. S. (A. C. Z)	DOUBLE DUTCH HOLIDAY CLASSIC SINGLES SPEED&COMPULSORY部門 第1位 NOVICE FUSION部門 第1位

No	団体名	表彰行為
82	東京高等学校陸上競技部	第78回東京都高等学校陸上競技対校選手権大会 男子総合・女子総合 優勝
83	東京高等学校女子硬式テニス部	第70回東京都高等学校総合体育大会 女子テニス団体 優勝
84	日本体育大学荏原高等学校体操部	令和7年度東京都高等学校総合体育大会体操競技大会 団体 優勝
85	日本体育大学荏原高等学校ライフセービング部	全日本ユースライフセービング選手権2024 チーム総合 優勝

2 その他の事業報告

(1) 青少年問題協議会

青少年問題協議会

大田区青少年問題協議会とは、大田区における青少年問題に関する総合政策の樹立につき必要な事項を調査審議し、その実施に必要な関係行政機関に対し、意見を具申することを運営の基本としています。

令和7年度は、「闇バイトから青少年を守るための地域連携」「青少年問題協議会のあり方検討」の2つをテーマに、青少年問題協議会を構成する委員の方々から意見をいただきました。

なお、大田区青少年問題協議会での議論の概要は以下のとおりです。

【令和7年度の年間テーマ】

「闇バイトから青少年を守るための地域連携について」

「青少年問題協議会のあり方検討」

第1回

日 時	令和7年7月1日（火） 午後1時30分～午後3時00分
概 要	① 青少年問題協議会概要説明 ② 令和6年度青少年問題協議会の実績報告について ③ テーマ設定について ④ 少年非行の概況について ⑤ 各機関・団体における闇バイト対策等の取組み状況についての意見交換

第2回

日 時	令和8年1月27日（火） 午後1時10分～午後2時30分
概 要	① 闇バイトから青少年を守るための地域連携についての意見交換 ② 青少年問題協議会の課題と今後のあり方検討

(2) 青少年対策地区委員研修

青少年対策地区委員研修会

青少年健全育成事業に関する新たな知識やノウハウを学ぶとともに、各地区委員会間の情報交換を行い地区委員会活動の活性化を図るため、研修を実施しました。

近年、インターネット・SNS等の利用に伴うトラブルが多発しており、子どもたちが被害に巻き込まれる、加害者になってしまうケースも生じています。そこで今回は、東京都事業を活用し、各地区委員がネット等の安全利用についての理解を深められるよう、その危険性やトラブル防止等を学びました。加えて、ケーススタディーやグループワークを通して、委員同士で意見交換をする場を提供し、地区委員会活動における子どもたちとインターネットの関わり方などを考えるきっかけとなりました。

- 【日 時】 令和7年7月5日（土）10時～12時
【会 場】 池上会館 集会室
【参加者】 63名
【内 容】 講演：ネットトラブルから青少年をまもるために！
講師：寺田 幸人 氏
（東京都「ファミリールール」事業派遣講師）

青少年対策地区委員会 会長・副会長宿泊研修

青少年対策地区委員会の会長・副会長を対象に、青少年健全育成事業の参考となる事例及び施設の見学や、各地区委員会間の交流・情報交換を行うことにより、地区委員会活動がより充実したものになるよう、宿泊研修を実施しました。普段の生活圏では体験できない自然や科学、歴史に触れながら、区施設である休養村とうぶに宿泊することで、区への愛着を深めるとともに各地区委員会事業に新たな視点を取り入れる機会となりました。

- 【実施日】 令和7年11月14日（金）～15日（土）
【見学先】 八ヶ岳・清里高原 清泉寮
南牧村農村文化情報交流館 ベジタボール・ウィズ
国立天文台 野辺山宇宙電波観測所
上田城跡公園
【宿泊先】 大田区休養村とうぶ
【参加者】 28名

(3) 青少年を取り巻く環境の整備

「東京都青少年健全育成協力員」制度

この制度は、東京都青少年の健全な育成に関する条例に基づき、書店、コンビニエンスストア、ビデオ・DVDソフト店等の販売店・レンタル店等で指定図書類や表示図書類の包装、区分陳列がより適正に行われているかを調査し、その結果を東京都に報告するもので平成16年度より始めました。

大田区では、区内18地区の青少年対策地区委員の方に協力員になっていただき、区内のコンビニエンスストア等を訪問し、指定図書類の有無等を確認していただいています。

協力員の地道な活動により、書店・コンビニ店等での区分陳列に対する意識が高まってきていますが、今後も活動を継続していくことが求められています。

また、協力員による調査により特に問題があると考えられる販売店等には、都の職員が重点的に再度調査し、注意・指導を行っています。

秋のこどもまんなか月間

こども家庭庁ではこどもや子育て世帯を社会全体で考える機運をさらに醸成すべく、11月を「秋のこどもまんなか月間」とし、その取り組みのひとつである「子供・若者育成支援推進強調月間」では、子供・若者育成支援に関する国民運動の一層の充実や定着を図ることを目的として、関係省庁、地方公共団体及び関係団体とともに諸事業、諸活動を集中的に実施しています。

大田区では、この強調月間中に、青少年対策地区委員が中心となり、コンビニエンスストア、書籍販売店、DVDレンタル店等に対する販売・貸出自粛要請活動を訪問により行っています。

大田区青少年対策地区委員会だより

令和7年度（第82号）

発行日 令和8年4月発行

発行者 大田区地域未来創造部地域力推進課青少年健全育成担当

住 所 大田区蒲田五丁目13番14号

電 話 03（5744）1223